

分野	専門分野	科目名	母性看護学方法論
時間	30時間	開講時期	2年次（前期）
講師名	外部講師		
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不妊治療を受ける女性の心理・社会的特徴を理解し、不妊治療の看護への理解できる。</li> <li>2. 妊婦の心理的特徴、妊婦・家族の新しい役割獲得に関する課題について理解できる。</li> <li>3. 妊婦と胎児の健康の保持・増進のための、妊婦のセルフケア能力を高める援助について、保健相談、および出産・育児への準備について理解できる。</li> <li>4. 分娩の経過に伴う身体的変化および心理・社会的変化を理解し、援助の実際を理解できる。</li> <li>5. 褥婦の身体的変化の理解、産褥経過の診断、褥婦の健康状態、および褥婦・家族の心理的・社会的変化を理解できる。</li> <li>6. 褥婦のセルフケア不足や身体的変化に伴うニーズへの援助、育児技術の指導、子どもを迎えた家族関係の再構成への看護のかかわりなど、産褥早期の看護、および退院後の褥婦の支援について理解できる。</li> <li>7. ハイリスク妊娠の看護について理解できる。</li> <li>8. 新生児のアセスメントと看護について理解できる。</li> </ol>		
講義形態	①講義・演習		
講義内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リプロダクティブヘルスケアの必要性</li> <li>2. 出生前診断を受ける人への看護・遺伝カウンセリング</li> <li>3. 不妊治療を受けている女性の心理・社会的特徴</li> <li>4. 不妊夫婦の看護</li> <li>5. 不妊治療によって妊娠した女性・家族の看護</li> <li>6. 不妊治療の終結に関わる看護</li> <li>7. 妊婦の心理</li> <li>8. 妊娠期の心理と社会的特性</li> <li>9. 妊婦と家族の看護</li> <li>10. 産婦の心理・社会的変化</li> <li>11. 産婦・胎児、家族のアセスメント</li> <li>12. 産婦と家族の看護</li> <li>13. 分娩期の看護の実際</li> <li>14. 新生児の健康状態のアセスメント</li> <li>15. 新生児の看護</li> <li>16. 産褥期の心理・社会的変化</li> <li>17. 褥婦の健康状態のアセスメント</li> <li>18. 褥婦と家族の看護</li> <li>19. 施設退院後の看護</li> <li>20. ハイリスク妊婦の看護</li> <li>21. 異常のある産婦の看護</li> <li>22. 異常分娩時の産婦の看護</li> <li>23. 分娩時異常出血のある産婦の看護</li> <li>24. 異常のある褥婦の看護</li> <li>25. 育児に困難さをかかえる母親への看護</li> <li>26. 児を亡くした褥婦・家族の看護</li> <li>27. メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援</li> </ol>			
【テキスト／参考文献】			
医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2]母性看護学各論			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			